

発行：ひとちなか市の環境を良くする会  
 会長 栗田 裕子  
 編集：広報委員会  
 監修：ひとちなか市環境保全課  
 TEL：029-273-0111 (内3313)

# 環境から版

## 環境四季時計「冬祭り」環境ジミポジウム2013

1月26日(土)、ワークプラザ勝田で208名の参加者のもと、開催されました。

今年度も小中学生や事業所の環境活動の取り組み発表が行われました。

「環境活動を楽しく続け、広げていくには？」のテーマでプレゼンターによるパネルディスカッションを行い、引き続きお楽しみアトラクションのエコビンゴでホットに盛り上がりました。今年度は初めて三つのことを実施しました。

一つ目は、夏に小中学生を対象に募集した、環境啓発ポスターコンクールの優秀作品の表彰。合計108点の応募作品は力作ぞろいで、頭や胸を痛めながら審査を行いました。来年度も実施する予定です。

二つ目は、「お誘いカード」の配布。ポスターコンクール受賞作品が

印刷された名刺大のスタンプカードで、今後、会の行事に参加してスタンプがたまるとプレゼントがあります。

三つ目は、発足から5年目の本会の活動内容の発表。環境活動は、「きつい、きびしい、難しい」と思われがちですが、出来ることから始め、



那珂湊三小による発表の様子

「冬祭り」の様子は4面に掲載

3月には環境四季時計「春祭り」と、環境講座「フードマイレージから地球環境を考える講座」が開催されました。

みなさん参加していただけたでしょうか？

今後またたくさんイベントを企画していきますので、ご意見のある方はぜひブログにコメントをお寄せください！

楽しくやり続ける仲間を増やしていきたいという思いを込め発表しました。

楽しいエコ活動は気持ち良い暮らしにつながっています。

毎年、パネルディスカッションでコーディネーターをお願いしている茨城大学の原口先生からは「発表内容もシンポジウムの企画も年々進化している」とうれしい感想をいただきました。(栗田)

### 合同分科会の開催

2月9日(土)、中央公民館にて今年度3回目の合同分科会が開催されました。

ごみ問題分科会、温暖化防止分科会、自然環境分科会の順で、活動報告、議案審議を行いました。

ごみ問題分科会は、完成堆肥の性能試験と環境四季時計「春祭り」の開催等、温暖化防止分科会は、環境講座「フードマイレージから地球環境を考える講座」と近隣環境活動団体との交流、自然環境分科会は、森林保全活動、名平洞浄化などを議論しました。

小さな水の流れて出来る「発電計画」も話題になりました。それぞれ今後の運営に役立つ話し合いがもたれました。(井上)

『ひとちなか市の環境を良くする会』は、ひとちなか市が策定した「ひとちなか市環境基本計画」に基づき計画の推進母体として設立され、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にする心を育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。3つの分科会(ごみ問題、温暖化防止、自然環境)がそれぞれの分野で取組を計画し活動を行っています。より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

～会員を募集しています～ 問合せ・申込先：ひとちなか市環境保全課 TEL273-0111 (内3313)  
 市内に在住、通勤、通学している方。市内で活動している団体、事業所。一緒に活動しませんか？

ブログ

ひとちなか市の環境を良くする会

検索

### 温暖化防止啓発キャンペーン

1月12日昼前、ジョイフル本田中央口にて「地球温暖化防止啓発キャンペーン」のチラシ配布とワットチェッカー（節電見える化）の実演をしました。

用意したチラシ等1200部も1時間ほどで配り終わってしまいました。ワットチェッカーの方は反応が今ひとつといったところでした。

節電と言っても旧来の各電気機器には具体的な節電量が示されるわけではないので、節電の効果や目標はなかなか見えにくいです。その点、ワットチェッカーを利用すれば、その機器に関して電力量・電気料金・CO2排出量などが年・月・週・日の単位で表示されますので、節電の効果が見えます。ぜひ皆さんもこのワットチェッカーを利用して、見える節電を実践してみたいかがでしょうか。



街頭キャンペーンの様子



市で貸し出ししているワットチェッカー

今後はさらに電気料金も値上がりしますが、電力量の削減率は領収書に記載されていますので、チェックして節電の数値目標を立てましょう（斎藤）

### 生ごみ堆肥化実証試験

昨年6月の1ヶ月間、柳が丘自治会30世帯の生ごみを、週2回計8回収集。更に、給食センターの生ごみも加え、副資材として鶏糞・おが屑・もみがらを投入。混合・攪拌や水分調整を繰り返して、今年1月に茶褐色の堆肥680kgが出来上がりました。



完成した生ごみ堆肥

### 名平湖をもっときれいに



名平湖

ひたちなか海浜鉄道那珂湊駅から約1キ（徒歩約14分）に在る名平湖は雨水幹線の調整池です。

協力者30世帯の方には、堆肥作りの現場を見学し、アンケートにも回答していただきました。

#### 【注目コメント】

- ・ごみ袋の中に生ごみが入っていないとカラスの被害が少ない。
- ・来年度の堆肥化実験に参加したい。

今後の活動に向け、アンケート結果には大変勇気づけられました。

今年の6月から3ヶ月間、100世帯参加の実証試験を開始予定です。農地での効果試験について協力農家の方々と打合せ続行中です。

生ごみ堆肥化から循環型まちづくりに向け、大きな一歩が踏み出せました。（渡辺）

那珂湊体育館・同公民館・同図書館に隣接する地域の憩いの公園で、水をたたえる池です。春夏の豊かな緑、秋冬は渡り鳥で賑わう住宅地内の貴重な自然環境地域です。

しかし、流水の少なくなる夏季や冬季の一時に異臭を発生することもあります。異臭のない通年を確保するために、池に竹林整備で伐採された竹を利用した浮島イカダを浮かべ、水中へ水質浄化に寄与するといわれる乳酸菌飲料の容器を吊るし、効果の実験中です。

地域の中学生と協働で水質透明度の観測なども行っています。



観察会の様子



浮島イカダ浮かべている様子

### 伐採竹再利用プロジェクト

斜面緑地の竹林整備で伐採した竹を利用し、竹炭・竹酢作りを開始しました。炭焼き窯は昨年夏に竹林整備地の隣に設置しました。

空焚きの後、30kgの伐採竹を5回に分けて窯入れを行い、36kgの竹炭が完成しました。

竹炭を作るには、伐採竹の長さや太さをそろえ、火入れ後6時間から9時間監視した後、2日から4日の冷却期間をおいて、窯出しします。竹酢の回収には細心の注意を払い、2回ないし3回のろ過をして、品質の管理をしています。

今後も竹林整備を行っていくとともに、さらに良質な竹炭・竹酢の製造を予定しています。

自然満喫の笑いが絶えない竹炭・竹酢作りです。参加ご希望の方、連絡をお待ちしています。

連絡先050-1204-7188



竹炭作りの様子

(黒沢)

### カモがアヒルに！?

冬になると毎年、市内の池などに白鳥やカモなどの渡り鳥がやってきます。皆さんはエサをあげたことはありませんか？

エサを食べる様子を見てみると、心が和むし、水鳥に関心を持つことで水辺は人間だけのためにあるんじゃないことに気づかされたりもします。

ところが、考えさせられる一面もあるようです。エサをもらうことに慣れてしまうと自分でエサをとることをやめてしまったり、エサになつていた生き物が、天敵を失ったため増えすぎてしまったり。

また、人間の「食べ物」は自然界の「エサ」に比べてカロリーが高く、沢山与えすぎると太ってしまうのです。

これからどう接していいたらお互いにとって良いのかみんなで考えていきたいですね。

(綿引)

### 多良崎城跡の篠の刈り取り

篠の刈り取りも3年になります。前年の篠の刈り取り本数は1850本、刈り取り面積は132㎡、参加者は延21人となりました。今年度は11月18日は雨の後、足元が悪いため中止しました。

1月27日は参加者7名で刈り取り



篠の刈り取りの様子

### 環境かわら版の4年

「ひたちなか市の環境を良くする会」を知っていただき、より多くの市民の方々に活動を伝える「環境かわら版」も13号になりました。

自治会回覧板でスタートした本紙は11号から全戸配布になりました。多くの方々と環境情報を共有して、更に快適な環境づくりを進めたいと思います。ご意見・ご感想などをお待ち申し上げます。

作業後には冬枯れの木々の間から水田の向こうの雑木林が見えてきました。春にはどのような木々の新芽が見られるか楽しみみです。(黒沢)

**かわら**  
ちゃん

たなべゆきこ (6)

あれ何植えてるの？

ほこみ処理機で作った肥料を使って大玉トマトとレタスを植えてるの

あ、いい野菜ができてるわ

こっちは後で節電用のグリーンカーテンに使うのよ

グリーンカーテンの種はいつまくの？

この辺の地域だとゴーヤなら4月末から5月くらいまでね

よし！野菜ができたよ

またパパがおいしいカレー作るぞ!!

やった？

夏が来るのが楽しみね

# 環境かわら版

## ごみのない きれいな街に

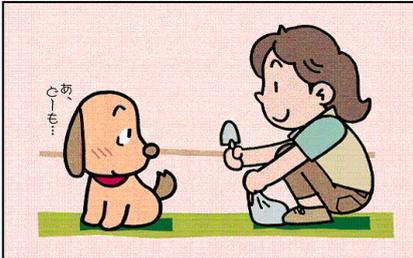
清潔な美しい街づくりを目指し、ごみなどの投げ捨てや犬などのふん放置で街を汚さないようにしましょう。

犬・猫のふん放置がまだ見受けられます。飼い主は周りの方々に迷惑や危害を及ぼさない心配りとしつけが大切です。

### ●排泄のしつけをしましょう!

散歩中、「ふん」をした時は必ず持ち帰りましょう。

猫は屋内にトイレを設置しましょう。



※犬の「ふん」は、あなたの「ふん」。  
持ち帰りましょう!

## 冬祭り写真集



## 生ごみ堆肥化実証試験参加募集

今年も家庭生ごみの収集、堆肥化実証試験を実施します。対象は東中根及び柳が丘自治会の各50世帯、計100世帯で、生ごみの回収は月・木曜日、6月～8月の3ヶ月間です。参加募集は各自治会の回覧で行います。参加世帯には家庭用水切りバケツを無償で差し上げます。

連絡先 TEL263-7712 (瀧沢)

## 編集者だより

■3度目の3月11日が過ぎた。私の記憶から消すことは出来ないのは、大地が揺れ、吠えたあの瞬間ではない。

あの後から襲いかかった結果が忘れられない。電気も水道も止まった。屋根が崩れ、塀が倒れ道路が歪んだ。学校の校庭で飲料水の供給列に並んだ。

スーパーマーケットもコンビニエンスストアにも買い物客の長列に並んだ。食べ物ならなんでもよかった。それさえも数量制限されていた。

ガソリンを求めて走り回る車のラジオで、原発事故と放射能不安を知る。2年過ぎた今も続いている、記憶から消せない。

■温暖化防止のキーワード『節電しよう、水を大切に使おう、近くで生産されたモノを食べよう、使おう』の大切さを実感させてくれた3・1だ。

■今週中に「自家製生ごみ堆肥」を使って、プランターに種まきの準備をしようかな。

まずは「大玉トマト」からですかね。F1(一代交配種)ではない大豆は6月に蒔きましょう。(若林)